

本部

年次報告	195
本部	195
経営管理部	196
人事部	197
委員会	198
業績一覧	200
部署責任者一覧	200
職員数一覧	200
委員会など	200

本部



1 目標

社会医療法人仁生会の現状把握と将来方向を模索するために、最新の経済情報や医療情報の収集に努め、仁生会の全てのグループがコミュニケーションを緊密にして、和を尊び、常に前向きに思考できる環境を整える。同時に、経済的にも余裕をもって運営できる方向性を探る。

- ①各病院の収支を明確にして、問題点などを分析、検討できるよう努力する。
 - ②各施設からの要望や本部からの考えをまとめ、優先順位をつけて計画を策定する。
 - ③かねてより計画していた「ほそぎハートセンター」が令和2年6月8日開設した。
 - ④令和2年当初から、新型コロナウイルス感染対策で病院挙げての安全対策実施。
 - ⑤本部の各部長・課長の共通認識を確かめ、仁生会の発展に寄与する。
 - ⑥本部人事業務も充実し、三愛病院の業務も一部引き受け効率化している。
- その結果、毎月の試算表の仕上がりが早くなった。

2 人事異動

- 森田 麻衣子 令和2年4月16日
細木病院総務課に移動
- 山本 美紀 令和2年5月16日 主任に昇格

3 総職員数

14名

4 定期会議

- 1) 本部会 毎週木曜日の8時半から運営会議
メンバー：細木秀美理事長、細木信吾副理事長、細木鷹子本部長、宮地耕一郎仁生会事務局長、門脇弘幸経営管理部長、金子忠司人事部長、石元恵津財務課長、門田紘和細木病院企画課長。以上8名。
- ①各部長、課長より、経営、運営上の現況や計画お



本部長 細木 鷹子

よび問題点などの提案、理事長の指示や情報提供に即応して、運営の方向性を討論している。

- ②昇給・賞与の試算など、仁生会全体の各種会合に提案する試算案について検討する。
- ③各病院長の意向を考え、将来に向けての企画やそのタイムスケジュール、財務上の問題点など、運営上の全般的な計画や考えをまとめる。
- ④本部の各部長の毎年の報告に従って、各部署の運営方針の下、職員の皆さまのご尽力とご努力により、各部署が運営されるように援助する。
- ⑤本部の各部長が共通の認識を持って、目標に向かって行動できる下地を作る。
- ⑥12月の細木病院こころのセンターでの新型コロナウイルスによるクラスターが発生するも、細木病院より医師、看護師の応援により収まり、こころのセンターが細木病院として一体化が進んだのではと感じている。「雨降って地固まる」となっていたきたい。

2) 試算表の検討会

毎月の各病院の収支と年度末の収支報告の検討などを行う。新しい社会医療法人会計準則になって3年目に入り、外部監査法人の監査も財務の協力で順調。

5 外部監査法人

大阪より、清稜監査法人の舩越啓仁氏がお1人または2人の職員が、日帰りや泊まりで再々来高し、指導もしていただき、決算にコメントを書いていただき、県、財務省に提出する。

6 ナウレッツビギンの執筆

仁生会の役員、幹部職員によるリレーエッセイ（簡単な時事などの小文章）を、毎月下旬に仁生会のホームページなどで公開している。

7 税金や給与などの処理、各種管理

毎月の税金、役員給与、職員給与や月末資金繰りの押印、行政への提出書類の捺印、賞与の資金繰りなど財務と検討。出張旅費、イベントなどの出金、仁生会の実印・銀行印など全ての管理を行う。

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会

8 マザーグースの会

仁生会の常勤医の奥様方の親睦会。年1回、昼食をとりながら、お互いに仲良く会話を楽しんでいただき、ご主人の働きやすい環境を整備して、内助の功を發揮していただいているが、今年は新型コロナウイルスの蔓延で、病院の現状報告を文書にして報告して中止したが、早く再開できることを願っています。

9 危機管理室

他の部署との連携を図り、病院などを見回ったり、アクシデントの解決や未収金の対応などには経営管理部長と力を合わせて、精力的に活動いただいている。相談しやすくて頼りがいのある、なくてはならない部

署となっている。その結果、顧問弁護士への相談も少なくなった。個人的な相談も増している。信頼高い部署である。

10 その他

4月1日の入社式の全員集合はコロナ禍で中止、8月のよさこい祭り参加も中止、11月の職員文化交流会も中止したので、今年は患者さんや職員の皆さんとも楽しい交流を持つことができなかった。1月4日の仕事始めは、お屠蘇で祝い、令和3年が始まりました。コロナが収束し、ワクチンの接種が順調でありますように祈念します。



経営管理部

1 概要

経営管理部の組織は仁生会本部に所属し、部長、顧問、課長、主任、事務員2名の合計6名で就業している。経営管理部は、財務課および経営管理課の二課体制で、経営管理課に危機管理担当室を設け、警察OBの顧問が在籍し、蓄積した経験と見識でクレーム対応を行っている。

仁生会では平成30年度決算から医療法改正への対応で外部監査や内部統制が必要となり、令和2年度も引き続き外部監査法人から会計処理体制の検証、現場に出向いての棚卸の実地指導、内在しているリスク管理の指導を受けた。

2 活動内容

(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮しての資金計画の実施

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年度実績に対し、入院・外来患者数が減少した。それに伴って事業収益も減少傾向が続いたため、医療公庫の制度資金貸付（低利、一部無利子）を積極的に導入し、余裕を持った資金計画を実施した。
- ② 年度後半は、新型コロナウイルス感染対策の制度補助金を各施設事務長が最大限活用したことから、コロナ関連の運営補助金収益が積み上がり、仁生会全体の事業収益は、前年実績を上回った。

(2) 会計仕訳

- ① 介護医療院開設による施設会計
令和3年4月1日開設により、施設会計を開始した。
- ② 毎月の試算表作成
材料や給食費など主な買掛金支払いは月末締め翌月末日支払としていた。よって、試算表作成時期がさらに翌月10日頃となっていたが、財務課内の担当変更や処理能力アップにより、3日～5日早くなった。



(3) 総会の開催

令和2年6月および令和2年12月に定例総会を開催し、事業計画や収支予算の決定などの承認を得た。

(4) 実績検討

① 月別試算表のフィードバック

各施設に対し、施設ごとの収支などを取りまとめ月別試算表作成後、フィードバックを行った。

② 細木病院、三愛病院で毎月開催される経営会議への出席

経営管理部長が出席し、損益計算書に基づき、当月実績と予算および前年実績との対比の説明を行い、現状認識を確認した。

③ 附帯業務の部門別収支の検証

在宅部門の大部分が税務署の判定する収益事業となるため、部門別損益を作成し、税務申告を行う必要がある。よって、作成した部門別損益表を今後の運営に生かすため、各在宅部門にフィードバックを行った。

(5) 外部研修会への参加

毎年、税務署や高知法人会主催の研修会や説明会に参加していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、外部研修会が開催されなかった。

3 今後の課題・まとめ

(1) 給与振込データの変更

廃版となっているフロッピーディスクで行っていることから、インターネットバンキングへの変更準備を行う。

(2) デジタル化の推進

効率化を図るうえで必須であり、所管は違うが、

紙で配布している給与明細や年末調整のペーパーレス化が必要である。よって、その準備に対し意見具中を行いたい。

(文責：経営管理部長 門脇 弘幸)



人事部

1 概要

人事部は、人事部長 金子忠司、人事課・庶務課(兼務) 主任 濱田洋子、広報課主任 木下浩一、人事課 坂本義廣、庶務課 西田江見(細木病院 司書業務と兼務)、令和2年10月から派遣事務員1名、計6名体制で業務を行っている。



2 活動内容・目標に対する達成状況

(1) 人事課

【1】採用・退職人事

看護職の定期採用については、今年度は奨学生が15名、一般採用者が14名、合計29名であった。昨年度に続き定期採用者が増加した。来年度の定期採用は、奨学生が9名入職する予定である。また、看護助手・介護職については離職者の補充が昨年度同様、適時にできないことがあった。就職支度金の対象職種を新たに広げ、法人職員からの職員紹介謝礼金の内容も一部見直したが、職種によっては充足に至らず、現場に負担をかけることが多かったことを反省している。

新規学卒者や中途採用者の採用試験、奨学生の採用面接並びに採用事務や退職事務に当たった。

【2】人事制度の運営

①人事制度検討委員会開催 年11回

②昇格試験について

令和元年度の昇格者の内訳は、等級別に次のとおりである。E7→P8 1名、E6→E7 2名、S4→S5 6名、J3→S4 16名、J2→J3 18名、J1→J2 2名であった。

【3】令和元年度教育研修関係

①教育委員会活動 教育委員および事務局として、新採用者研修会、中途採用者研修会、5年目職員研修会を開催した。中途採用者研修と5年目職員研修会に関しては、オンライン研修で行った。

②管理職研修会 新型コロナ禍の影響があり、今回初めて中止とした。

【4】ボランティアの受け入れ

【3】②の管理職研修会と同様に、新型コロナ禍の影響により外部からの受け入れは中止となったため、今年度は受け入れることができなかった。

【5】旧：土佐看護専門学校に関する事務

卒業証明書7件、成績証明書1件 合計8件

(2) 庶務課

【1】出版活動・次世代育成支援事業活動

①年報の作成

令和2年度は、「2019(令和元年度)年度仁生会の年報②」を600部作成し、関係各位に配布した。

②次世代育成支援事業

令和2年度は、国の「第5期一般事業主行動計画」の計画期間を令和2年6月1日～令和5年3月31日までの2年10カ月間で策定し、引き続き男性の育児休業取得促進を目標とした。また、高知県より「ワークライフバランス推進企業」向けの取り組み依頼と高知県主催の「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の月ごとの目標に取り組んだ。

(3) 広報課

【1】広報業務

①情報誌「じんせい」の編集、発行(毎月1回)

②パンフレットなどの作成

仁生会細木病院グループ、ドクター紹介、細木病院、細木病院入院案内のパンフレットを更新し、発行した。

③仁生会ホームページの更新

④新聞や各種媒体への広告掲載

⑤職員向けエッセー「ナウ・レッツ・ピギン」の編集、発行

⑥職員名刺作成

⑦仁生会年報編集委員

【2】事務局業務

①仁生会広報委員会 毎月第2水曜日開催

②仁生クラブ（仁生会・積善会職員O B会）

入会案内、会計管理。今年度は、新型コロナ禍の影響を受け、総会・懇親会を開催しなかった。

事業においては、施設間や部署間での施作実施の標準化を図ること。

③細木病院の医師に対する人事考課制度を円滑に運営すること。

④全施設の新人事制度に対応した等級・号俵および退職金ポイントの管理ができるように引き続きシステム整備を行っていくこと。

これらの課題解決に取り組むことにより、仁生会の健全な発展に貢献したい。

（文責：人事部長 金子 忠司）

【3】今後の課題

①採用人事については、看護師、薬剤師および看護助手・介護職員を確保すること。

②次世代育成事業およびワークライフバランス推進

委員会



IMA J I N (今からの仁生会) 活動

令和2年度は、一年を通し新型コロナウイルスとの闘いに奮闘した大変な年でした。そうした中で、4年目となる「IMA J I N活動」の成果を実感した年でもありました。平成31年4月に再統合した細木病院と細木ユニティ病院は、新・細木病院としてコロナ禍の中、統合効果を発揮しました。

また、三愛病院も計画通り令和2年度の介護療養病棟から介護医療院への転換を果たすとともに、令和3年度の地域包括ケア病棟導入に向け、着実に準備を進

めた年でもありました。

①「新・細木病院」の統合効果の発揮

再統合2年目を迎えた「新・細木病院」にとって、このコロナ禍は大きな試練となりました。この試練を無事に乗り越えた最大の要因は、再統合だったと考えています。

コロナ禍での主な取り組みは、(表1)をご覧ください。

(表1)

【入院単価UP】 (令和2年度) 項目別効果額のまとめ

No.	項目	対象病棟	適用月	効果額の算出根拠	月間効果額 (百万円)	今期効果額 (百万円)	来期波及額 (百万円)	付記
1	回復期リハビリテーション入院料2→1へのUP	新1	2月	・1日患者数：43人(85%) ・大半が65歳以上のため生活療養点数で算出 ・2：2051点、1：2115点、+64点 ・43人×640円×30日=0.8百万円	0.83	1.66	9.96	・確定
2	回復期リハ体制強化加算2の取得	新1	11月	・1日患者数：43人(85%) ・体制強化加算2：120点/日 ・43人×1,200円×30日=1.5百万円	1.55	7.75	18.60	・確定
3	一般病棟入院基本料5→4へのUP	新3	8月	・1日患者数：42人(70%) ・一般病棟入院基本料5：1429点 ・一般病棟入院基本料4：1440点 ・11点/日UP ・42人×110円×30日=0.1百万円	0.13	1.04	1.56	・確定
4	療養病棟入院基本料2→1へのUP	南1	8月	・1日患者数：45人(87%) ・2(15%減算)の想定単価：16,000円 ・1(7月以降)の想定単価：21,000円 ・5,000円/日UP ・45人×5,000円×30日=6.7百万円	6.75	54.00	81.00	・確定
5	療養病棟夜間看護加算の取得	南2	4月	・1日患者数：44人(90%) ・45点/日の加算 ・44人×450円×30日=0.6百万円	0.59	7.08	7.08	・確定
		南1	8月	・1日患者数：45人(87%) ・45点/日の加算 ・45人×450円×30日=0.6百万円	0.61	4.88	7.32	・確定
6	地域移行機能強化病棟への転換	北5	9月～12月	・1日患者数：49人(98%) ・地域移行機能強化：1539点×47人×30日 ・精神病棟15対1：1084点×49人×30日 ・地域移行病棟は4か月間で6名減の計算 ・退院予定：9月：2人、10月：1人、11月：1人、12月：2人	5.77	19.83	0.00	・確定
7	看護職員夜間12対1配置加算1の取得	新3	9月	・1日患者数：42人(70%) ・105点/日の加算 ・42人×1,050円×30日=1.3百万円	1.32	9.24	15.84	・確定
8	せん妄ハイリスク患者ケア加算	新3	9月	・新3病棟新規入院患者数：89人 ① ・①うち70歳以上の患者数：58人 ・①うち70歳未満の全患者：10人 ・対象患者は、58人+10人=68人 ・入院中1回 100点 ・68人×1,000円=68,000円	0.07	0.48	0.82	・確定
合計					17.62	105.95	142.18	

②「ほそぎハートセンター」の立ち上げ

コロナ禍の中、前年度に着工した「ほそぎハートセンター」を6月8日、ほぼ予定通りに立ち上げることができました。循環器内科常勤医5名の陣容で、2階に心臓カテーテル室、1階に心臓リハビリテーション室を一体的に備える県内有数の施設の完成で、初年度の計画を上回る稼働を果たしています。

③「細木病院プロジェクト2020」の活動と成果

令和元年9月から酒井真由美リンクアップラボ代表にコンサルティングをお願いし進めている「細木プロジェクト」も2年目となり、以下の大きな成果につながりました。

1)「病棟再編・第1ステップ」の完了

I M A J I N活動の「中期5か年計画」で計画

した病棟再編の「第1ステップ」が全て完了し、入院単価の大幅アップなど大きな成果につながりました。「第1ステップ」の概要は、以下です。

- ①北2病棟(36床、医療療養1病棟)の廃止
⇒令和2年3月廃止
- ②南1病棟(52床、医療療養2病棟)の1への転換
⇒令和2年7月転換
- ③北5病棟(55床、精神科慢性期病棟)の地域移行機能強化病棟への転換⇒令和2年9月転換

2)入院単価のアップ

病棟再編および各病棟の入院料アップや各種加算の取得を進め、8項目で年間1億円を超増収効果となりました。詳細は(表2)をご覧ください。

(表2)

2020(令和2)年度

新型コロナウイルス禍・年表			
年	月	日	トピックス
R2	2	28	高知県下で第1例の陽性患者
	3	2	細木職員1名の陽性判明(第3例)、誹謗中傷と風評被害 濃厚接触者の薬剤師7/10名は2Wの自宅待機(全員陰性)
		5	有熱者外来の開始
	4	13	小児患者(2才)が陽性判明(第51例) 医師を含む5名が濃厚接触者として自宅待機(全員陰性)
		14	「新型コロナ対策本部」「新型コロナ対策チーム」の立ち上げ
	6	8	「ほそぎハートセンター」立ち上げ
	11	12	『コロナ検査協力医療機関』に手上げ
		24	本館1階に有熱者外来を新設
	12	14	北5病棟(精神科慢性期病棟)でクラスター発生(初日11名)
		15	高知県の発表と合わせ記者会見、深田院長「痛恨の極み」 患者/職員他の計40名のクラスターに⇒兎に角、当該病棟内に抑え込む
R3	1	20	収束宣言(抑え込みに成功、病棟閉鎖等で応援職員を捻出)
		27	『新型コロナ陽性患者の受入医療機関』に手上げ 緩和ケア病棟12床を新型コロナ患者対応病棟(南5病棟)8床に転換
	2	15	新型コロナワクチンチームを発足させ、ワクチン接種の準備を本格化

④三愛病院の病棟再編の実行

三愛病院でも、I M A J I N活動の「中期5か年計画」で計画した病棟再編を実行に移した年となりました。

①令和2年4月:愛3病棟(介護療養型)⇒「介護

医療院さんあい」に転換

②令和3年4月:愛1病棟に地域包括ケア病床10床を導入

(文責:事務局長 宮地 耕一郎)

■本部

理事長

□誌上発表(論文・著作・寄稿)

1. 細木秀美：わが国の人口激減と過疎地の医療（ひろば）、週刊社会保障 No.3068 p.38、令和2年4月20日
2. 細木秀美：ツバメのひみつ（書評コーナー）、高知県医師会報 第625号 p.31、令和2年6月1日
3. 細木秀美：人口激減後の高知県の医療の将来(会員投稿)、高知県医師会報 第625号 p.32、令和2年6月1日
4. 細木秀美：ハード、ソフト面での、弛まない変革が必要(特集1・第9回定時社員総会を開催、全老健第6期役員紹介 会員へのメッセージとプロフィール)、全国老人保健施設協会機関誌『老健』2020年8月号 Vol.31 No.5 p.17、令和2年7月25日
5. 細木秀美：高知県の将来、高知大学医学部内分泌代謝腎臓内科学講座同門会年報 第29号(平成31年1月～令和元年12月) p.37、令和2年11月
6. 細木秀美：「細木病院グループ」の近況、同門会誌2020年(岡山大学医学部内科学第三講座・同門会) p.83、令和2年12月10日
7. 細木秀美：無影灯、日本病院会ニュース 第1045号 p.1、令和3年1月10日
8. 細木秀美：Book Review「ツバメのひみつ」、全国老人保健施設協会機関誌『老健』2021年4月号 Vol.32 No.1 p.35、令和3年3月25日

□座長

1. 細木秀美：「地域で診る急性心筋梗塞－薬剤編－」第4回こうち循環器アライアンス、高知市(web配信)、令和3年1月14日

部署責任者一覧

令和3年3月31日現在

理事長	細木 秀美
副理事長	細木 信吾
本部長	細木 鷹子
事務局長	宮地 耕一郎
経営管理部	
部長兼経営管理課長	門脇 弘幸
危機管理担当顧問	壬生 澄雄
財務課長	石元 恵津
人事部	
部長	金子 忠司
看護相談室長(兼務)	豊田 邦江

職員数一覧

令和3年3月31日現在

本部	4 (2)
経営管理部	6
人事部	7 (2)
計	17 (4)

()は他施設との兼務者内数

委員会など

令和3年3月31日現在

仁生会定例会
本部運営会
院長WEB会議
I M A J I N検討会議
さくら会(看護部会)
相栄会

仁生会委員会
仁生会事務部門委員会
仁生会人事制度委員会
仁生会教育委員会
仁生会在宅ネットワーク委員会
仁生会広報委員会
仁生会年報編集委員会

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会